

あなたと博物館

M HIRATSUKA CITY MUSEUM

'89 10月号

特別展

“平塚の仏像”



木造地藏菩薩坐像（中原地蔵堂）

期間 平成元年10月17日～11月12日

記念講演会 10月29日(日)午後1時～

講師 跡見学園女子大学教授 三山進先生

テーマ 平塚の仏像

昭和55年以来、社会教育課が中心となって進めてきた市内各寺院の仏像調査の成果をもとに企画されたのが特別展「平塚の仏像」です。

この特別展では市内各寺院の仏像優品を所蔵寺院にご協力をお願いし中世の仏像を中心に出品していただきました。この機会に、市民の皆様の地域文化財に対するご理解の一助となれば幸いです。

ウォッチング・竹

*

今月の寄贈品コーナーは、博物館実習生による展示です。見る側から見せる場に立った体験談をお寄せいただきました。何を選び出し、どう見せるかが、展示の要めです。

タイトルパネル班 荒 路子

今回の展示では企画から展示までの期間を、3日間という限られた時間の作業でしたので、とまどうことばかりでした。

タイトルパネルは、展示の第一印象を決める大事な顔なので、慎重に作業を進めました。他班とのバランスも考慮し、協力しながらパネルを作りました。4人で協力し、大きな失敗もなく満足のいくパネルが出来たと思います。

解説パネル、ラベル班 岸本美香

解説は、まず読んでもらえなければ意味がありません。そのために私達は、なるべく簡潔でわかりやすく読みやすいものを作るよう心がけました。ラベルを白でなくうすいブルーにしたのも、その方が目にやさしく見やすいとの意見があったからです。実際に展示してみて、ラベルの字はもう少し大きくてもよかったかなとも思いますが、まあだいたい良いと思いました。「竹と笹」の解説パネルは、もう少し整ったものにできたと思います。

写真班 藤原裕也

私達の班は、男女各2名の構成でしたが、私以外は写真に対する知識を持っていた為、作業の分担や進行も、他の班と比べても一番スムーズであった気がします。私自身は雑用係でしたが……。

今回は写真班として、二升ザルの製作工程6枚と、絵巻物から竹を利用した図の2枚の、計8枚を取り挙げました。前者は数多い工程の中から、デザインが完成する様子のもものに絞り、後者は中

世の絵巻物の中で、すでに竹が身近になっている好例のものを選びました。日本人は竹を工夫することにより、様々な形で生活の中に取り入れたようです。何気ない民具でも、ザルやカゴの見事なデザインには、思わず見入ってしまいます。

寄贈品コーナーの展示をさせていただき、平塚市博物館の2つの素晴らしさを感じました。生物など自然分野も扱う総合博物館であることと、市民と密接な地域博物館でもあることです。地域の方々がこの博物館を利用されるたびに、それと同時に平塚への愛着が更に増すことでしょう。➤

完成した展示コーナー



*

一ものの良さを見分ける目一

カラフルでモダンな形、汚れにくいし、汚れても洗いが簡単で落ちがいい、手入れ不用、少々手荒に扱ってもこわれにくい、錆びない、そして安い価格で、買いかえがきく……

日用雑器の今日的条件をあげてみたら、つまるところ、手のかかるもの面倒くさいものは全部、駄目印だと知りました。ステンレスやプラスチック製品の幅広い登場が、うなづけます。ただし、私などは、便利さをかけても、愛着は持てません。従って百年後、暮らしの雑器展にこれらが展示されるとしたら、死んだあの世でさぞ肩身がせまかろうと、つい想ってしまうのです。変な話でごめんなさい。

展示構成 亀山由起子

私達の展示構成班では、全体の企画と実際の展示を担当しました。実習生全員で検討したテーマに沿って、他班と必要な写真やパネルを話し合っ、製作してもらい、配置を考えました。我々の構成決定が遅くなると、他班に迷惑がかかるので、とても気をつかいました。展示については、どのようにしたら編み目が美しく見えるか、どのように物をつるか、布のかけ方はどうか等、展示の難しさを感じました。モジリと塩ザルと蛇の目の展示は、特に苦心したものです。いかがでしょうか。

写真撮影：波部義弥

さて「ウォッチング・竹」。手書きのカナ文字に、習字のお手本のような形の文字を配して、しかも緑で抜くという「竹」の新鮮さ。これを決めた時点で、展示の主題をしっかりと纏めています。

いろんな大学から集まってきた方達が、僅か1週間の実習の総仕上げに、コーナー展示をまかされたのですから大変だったようですがどうして、上手にまとめあげています。

一瞥して、私たちの先人は、土にしろ木にしろこの竹にしろ、何とうまく暮らしにとり込んでいることかと感心しました。竹の持つ力というか、独自の性質というか、優れた所を見抜いて取り上げ、道具をみ出して、人の手の足りぬところを助けてもらっています。活用という言葉の本当の意味はこれですね。だからこそ、ものに対して感謝の気持が持てたのです。

総括して 角田 知巳

今回、実習生だけで寄贈品コーナーにおける「ウォッチング・竹」の展示を、担当させていただきました。準備期間が三日間でしたので、作業がなかなかかどらず、各班が独立し作業を行ったため、班と班との意志の疎通が、なかなかかかれませんでした。そのため各班同士の要求に応じきれず、困難を生じ苦労しました。しかし最終的には全員協力しあい、無事に展示をすることができたと思っています。

この平塚市博物館で、展示の一角をまかされたことは、大変ではありましたが、貴重な体験をさせていただきました。

日用雑貨からおもちゃまで竹がこんなにも多様な変身を成し得たのは、竹材の良さを見分け、良さを生かしたからです。では良さを見抜く目を、先人はどうして持てたのか。実はここが一番肝心なところなのですが、先人には竹と暮らしの日常があって、注意深く慈しんだ経緯がある。それがなくて、どうして見極める目が持てるのでしょうか。私達に欠落しているのはこの部分です。対策を立てましょう。考えるに値する問題だと思います。

今より何もかも不自由だったと思われている時を、生きついできた物たちを見ていると、横行している「手作り」という語が、だんだん胡散臭くなってきました。「手作り」が高値をつける理由だったり、有難がらせる手段になりさがってしまったからです。本当はそんなんじゃないことを、この展示から是非読みとってください。

(和田)

*** 行事案内 ***

10月

- 1 日 体験学習「巣箱を作ろう」
- 14 土 ナチュラリスト講座／古文書講読会／土曜観察会／石仏を調べる会
- 15 日 自然観察会「鍋割山ブナ林」
- 21 土 天体観察会「暗い天体を探すには」
平塚の空襲と戦災を記録する会例会
- 28 土 古文書講読会／土曜観察会／石仏を調べる会
- 29 日 相模川を歩く会まとめ／記念講演会
「平塚の仏像」

・特別展「平塚の寺院と仏像」

10月17日～11月12日

11月

- 11 土 古文書講読会／土曜観察会／石仏を調べる会／ナチュラリスト講座
- 18 土 天体観察会－星雲・星団を見よう－
平塚の空襲と戦災を記録する会
- 22 水 星を見る会－秋の星空－
- 25 土 古文書講読会／土曜観察会／石仏を調べる会
- 26 日 体験学習－和紙づくり－／相模川を歩く会

・寄贈品コーナー：サマーセミナー展

11月1日～29日

・プラネタリウム：

太陽・母なる星 11月5日まで

北極星が変る 11月11日～1月7日

「平塚の仏像」出品目録

№	尊名	所在
1	木造阿弥陀如来坐像	大乘院
2	木造地藏菩薩半跏像	延命寺
3	木造地藏菩薩坐像	慶徳寺
4	木造薬師如来立像	正福寺
5	木造十二神将立像	〃
6	〃	〃
7	木造地藏菩薩坐像	小鍋島地藏堂
8	木造地藏菩薩立像	福田寺
9	木造不動明王立像	不動院
10	木造阿弥陀如来立像	善福寺
11	木造日蓮上人坐像	円隆寺
12	木造七面大明神倚像	慈眼寺
13	木造聖観音菩薩立像	大松寺
14	木造地藏菩薩坐像	中原地藏堂
15	木造徳本上人坐像	宗源寺
16	木造地藏菩薩立像	般若院
17	木造閻魔王坐像	妙楽寺

★

プラネタリウムの利用案内

・投影開始時刻（各10分前に開場します。）

曜日	1回目	2回目
火曜日	学校専用	
水・木曜日	学校・団体専用	
土曜日	団体専用	14:00
日曜日	11:00	14:00

★

・観覧券 1人100円 当日9時より発売

★

Vol.13 No.7 通巻158号 印刷 平塚市総務部総務課文書係 ○3,500
あなたと博物館

発行 平塚市博物館 〒254 平塚市浅間町12-41 Tel. 33-5111